

令和5年度 第1回 名古屋市交通事業経営有識者懇談会

# 次期経営計画策定の 基本的な考え方について

令和5年6月2日



# 目次

1	経営計画の概要	3
2	策定スケジュール	4
3	計画期間	5
4	交通局と名古屋市の特性	6
5	交通事業を取り巻く状況と課題	12
6	次期計画で取り組むべきこと	28
7	施策構成	29

# 1 経営計画の概要

- 計画期間が令和5年度末までの「名古屋市営交通事業経営計画2023」に次ぐ新たな計画を策定するもの
- 現在策定が進められている本市の次期総合計画の個別計画として策定する
- 総務省が策定を求めている「経営戦略」としての位置付けを併せ持つ




## 2 策定スケジュール

### 令和5年度の予定

時 期	内 容
令和5年6月2日	第1回 名古屋市交通事業経営有識者懇談会
〃 夏頃	第2回 名古屋市交通事業経営有識者懇談会 「次期経営計画の中間案について」 「名古屋市営交通事業経営計画2023の進行管理等について」
〃 秋頃	第3回 名古屋市交通事業経営有識者懇談会 「次期経営計画（案）について」
〃 初冬頃	名古屋市会土木交通委員会における所管事務調査
令和6年1月	パブリックコメントの実施
〃 3月	策定・公表

# 3 計画期間

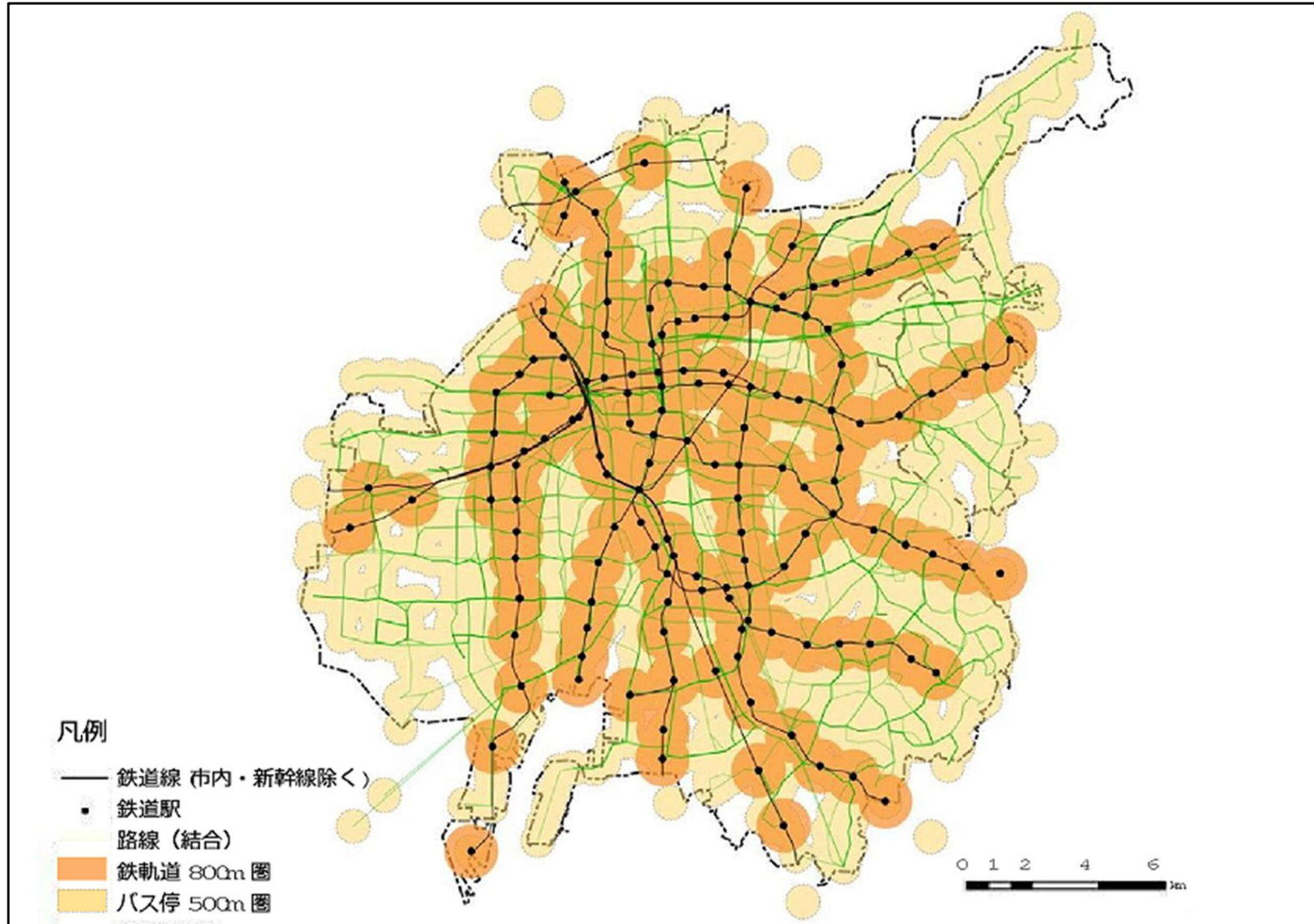
- ・ 令和 6 (2024)年度から令和10(2028)年度までの 5 年間
- ・ 収支計画は、令和15 (2033) 年度までの10年間

年 度	社会のできごと・名古屋のできごと	次期経営計画	総合計画
令和 5 (2023)		策定	策定
令和 6 (2024)	栄に新中日ビルオープン*1	 	
令和 7 (2025)	愛知県新体育館オープン、大阪・関西万博開催、 団塊の世代がすべて75歳以上に		
令和 8 (2026)	アジア・アジアパラ競技大会、新瑞穂陸上競技場オープン、 錦三丁目25番街区（栄角地）ビルオープン*2		
令和 9 (2027)	リニア中央新幹線一部開業（2027年以降） 地下鉄70周年		
令和10(2028)			
令和11(2029)	市バス100周年		
令和12(2030)	地球温暖化対策計画目標年（温室効果ガス2013年度比-46%）		
令和13(2031)			
令和14(2032)	市営交通110周年		
令和15(2033)			

\*1：31階建て複合商業ビル(商業施設、ホール、ホテル、オフィス等) \*2：41階建て複合商業ビル(商業施設、映画館、高級ホテル、オフィス等)

# 4 交通局と名古屋市特性

○ 名古屋市内の公共交通の駅勢圏（駅から800m、バス停から500m以内）

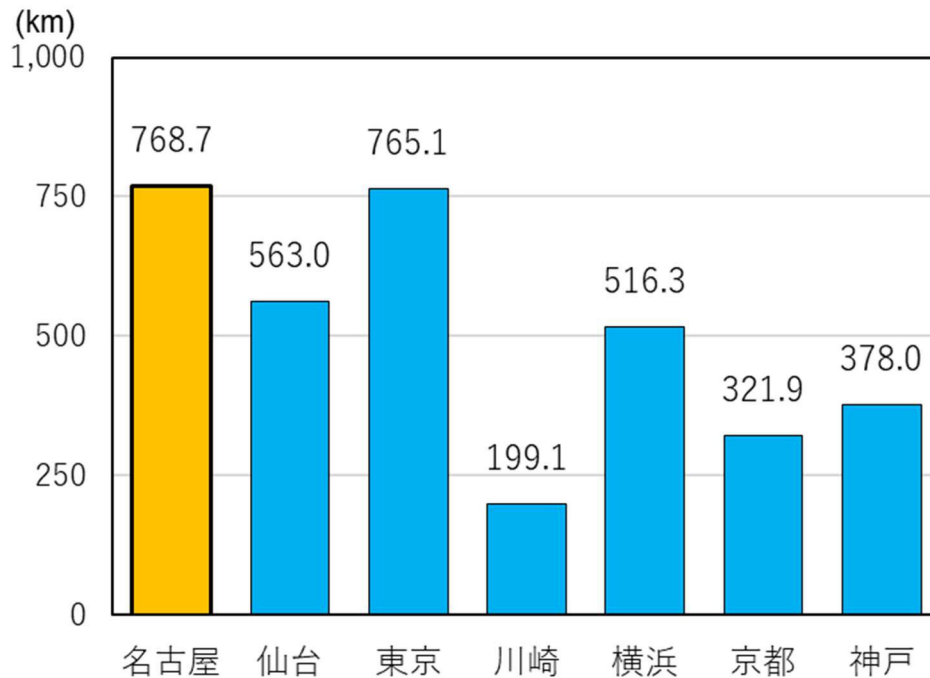


（出典）名古屋市住宅都市局「名古屋交通計画2030」

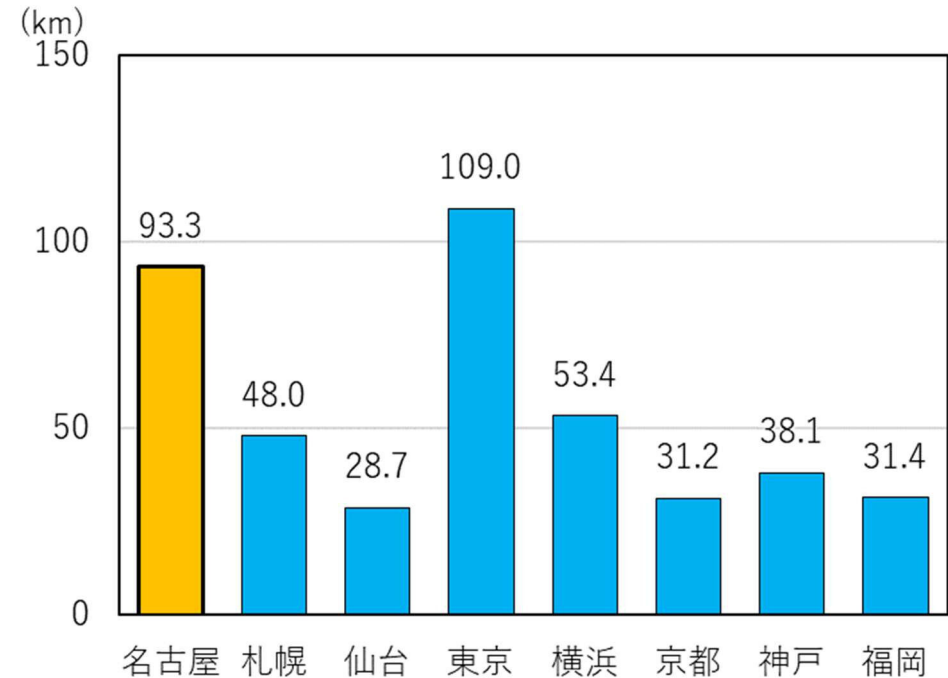
## 4-(1) 市バス・地下鉄のサービス①（路線）

- 市バスの営業キロは、主な公営バスの中で最も長い
- 地下鉄の営業キロは、公営では東京に次ぐ第2位の長さ
- 公共交通による市内移動の大半を市バスと地下鉄が担う

○ 主な公営バスの総延長距離（令和3年度）



○ 公営地下鉄の総延長距離（令和4年度）



（出典）一般社団法人公営交通事業協会「令和3年度公営交通事業決算調」、福岡市地下鉄のみ福岡市交通局webサイト

## 4-(1) 市バス・地下鉄のサービス② (料金)

- 市バスの1人当たり料金単価は主な公営バスの中で最も安い
- 地下鉄の1人当たり料金単価は東京に次いで2番目に安い
- 均一料金や初乗り料金に対する1人当たり料金単価の割合が最も低い

○ バス事業の1人当たり料金（税抜）と均一料金（税込）

		名古屋	仙台	東京	川崎	横浜	京都	神戸
均一料金	A	210円	対キロ 区間制	210円	210円	220円	230円	210円
1人当たり 料金単価	B	132円	171円	159円	170円	159円	156円	156円
Aに対するBの 割合（順位）		63% (1位)	/	76% (5位)	81% (6位)	72% (3位)	68% (2位)	74% (4位)

○ 地下鉄事業の1人当たり料金（税抜）と初乗り料金（税込）

		名古屋	札幌	仙台	東京	横浜	京都	神戸	福岡
初乗り料金	A	210円	210円	210円	180円	210円	220円	210円	210円
1人当たり 料金単価	B	154円	172円	169円	140円	167円	173円	178円	171円
Aに対するBの 割合（順位）		73% (1位)	82% (7位)	80% (4位)	78% (2位)	80% (4位)	79% (3位)	85% (8位)	81% (6位)



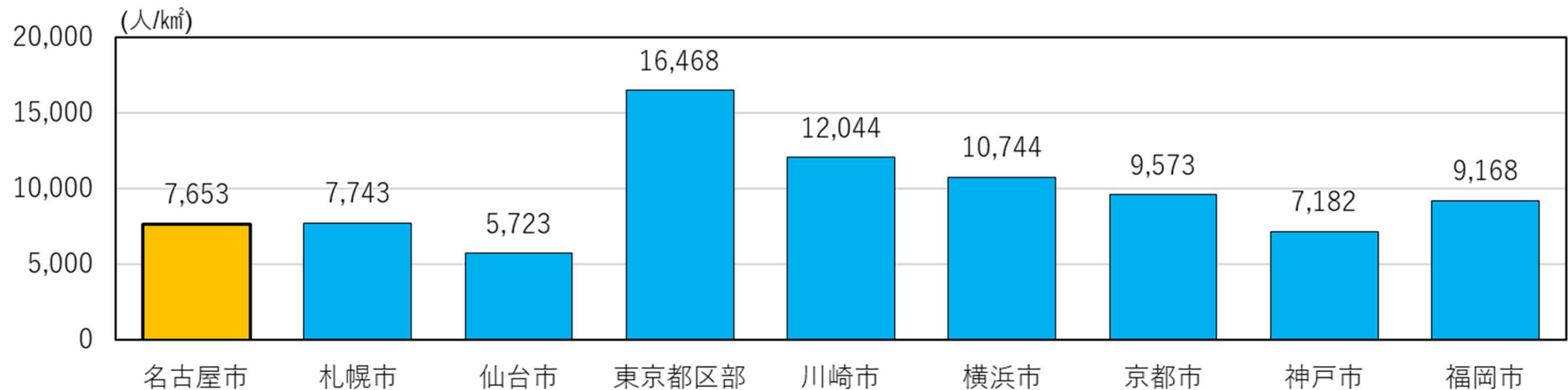
## 4-(2) 市バス・地下鉄の経営環境（名古屋の都市特性）

- 市域面積に対する道路率が政令指定都市で最も高く、1世帯当たりの自動車保有台数が他都市に比べ高い水準
- 市街化区域面積あたりの人口が他都市に比べ低い水準

○ 1世帯当たりの自動車保有台数

	名古屋市	札幌市	仙台市	東京都区部	川崎市	横浜市	京都市	神戸市	福岡市
1世帯あたりの自動車台数（台）	1.00	0.93	1.09	0.39	0.53	0.71	0.71	0.77	0.82

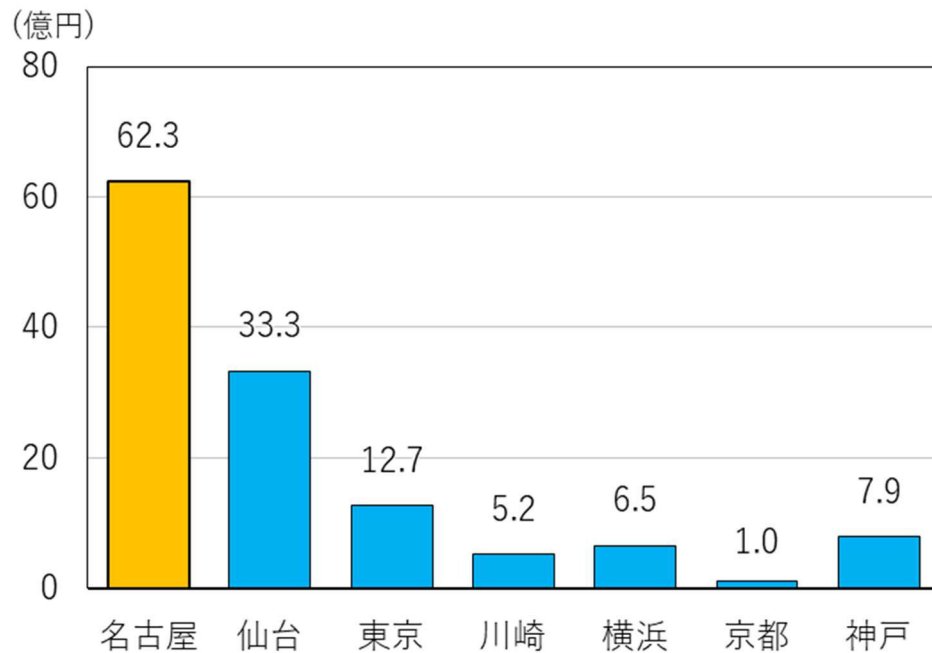
○ 市街化区域面積あたりの人口密度



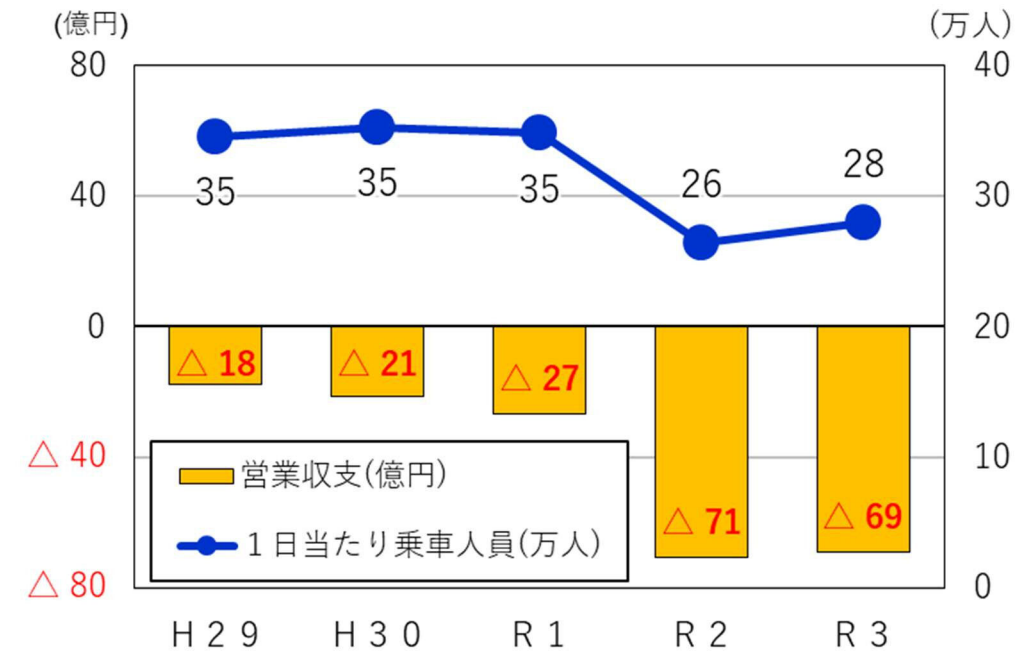
## 4-(3) 市バス事業の経営状況

- 名古屋市独自の補助金などによりサービス水準を維持
- 令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響などにより、一段と厳しい経営状況

○ 主な公営バスの他会計補助金（令和3年度）



○ 市バスの1日当たり乗車人員と営業収支の推移

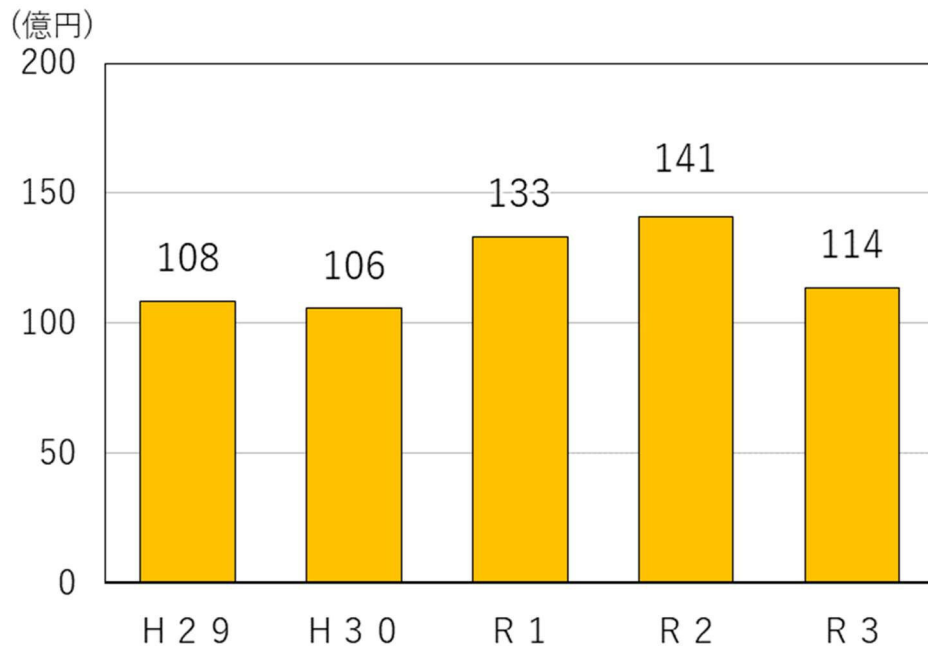


(出典) 総務省「地方公営企業年鑑」

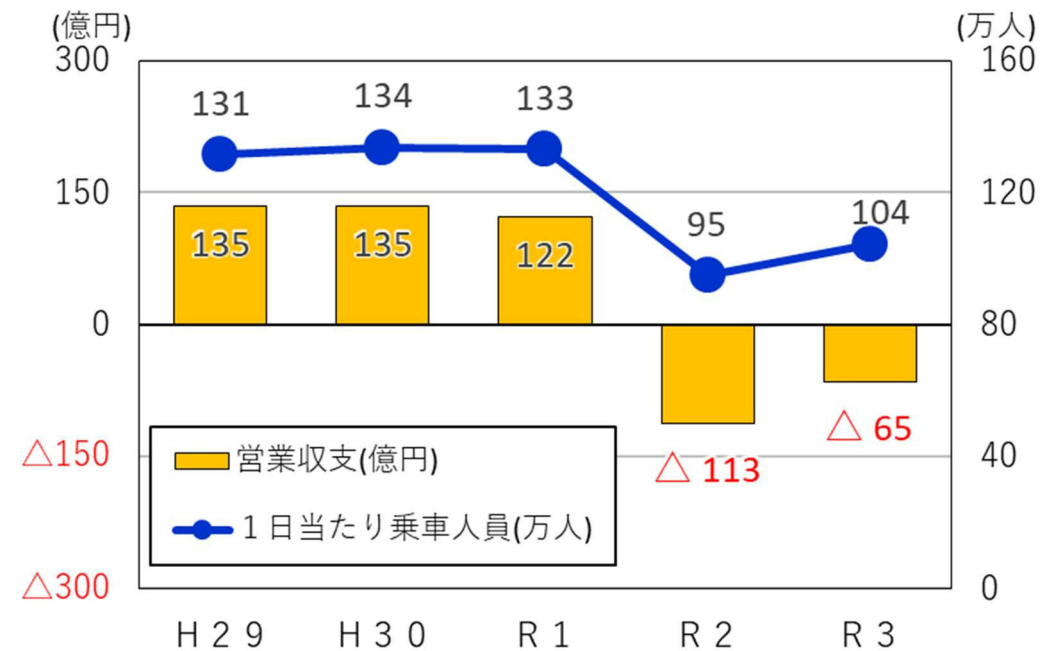
## 4-(4) 地下鉄事業の経営状況

- 施設更新、安全性・快適性・利便性向上のために多額の投資が必要
- 令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響などにより営業赤字に陥り、非常に厳しい経営状況

○ 地下鉄の投資額の推移



○ 地下鉄の1日当たり乗車人員と営業収支の推移



# 5 交通事業を取り巻く状況と課題

## 交通局を取り巻く状況

### 新型コロナウイルス感染症による事業環境の変化

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響
- ・ 移動需要の変化
- ・ 運賃制度等のあり方

### 社会環境の変化

- ・ 少子高齢化の進行と人口減少社会への突入
- ・ カーボンニュートラルの実現
- ・ DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

### 公営交通事業の役割

- ・ 安全の確保
- ・ 自然災害への備え
- ・ 計画的な維持管理
- ・ 快適性・利便性の向上
- ・ 誰もが利用しやすい環境の整備
- ・ まちづくり等との連携
- ・ 人材の確保・職員力の向上
- ・ 健全な経営状況の維持



## 交通局が取り組むべき課題

### 安全・安心の推進

- ① 安全性の向上
- ② 自然災害への備え
- ③ 計画的な維持管理

### 快適性・利便性の高いサービスの提供

- ④ 施設のリニューアル
- ⑤ 誰もが利用しやすい環境づくり
- ⑥ ニーズに対応したサービスの提供

### まちの将来に向けた行動

- ⑦ まちづくり等との連携強化
- ⑧ 環境負荷の低減

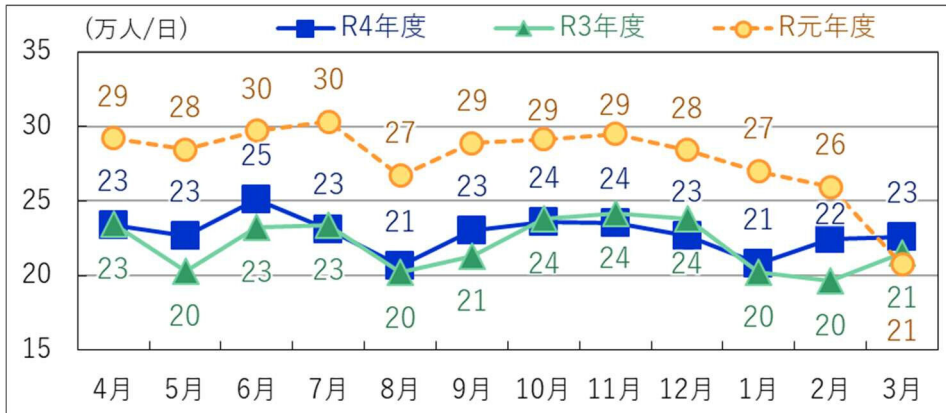
### 持続可能な経営の確立

- ⑨ 収入増加策の展開
- ⑩ 事業運営の省力化・効率化
- ⑪ 人材の確保・職員力の向上

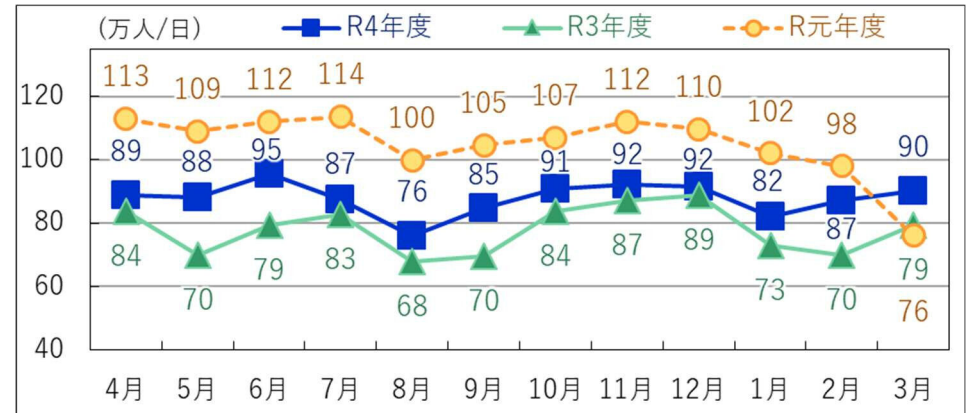
# 5-(1) 新型コロナウイルス感染症の影響

## ・市バス・地下鉄の利用が大幅に落ち込む

○ 月別の利用状況（市バス）

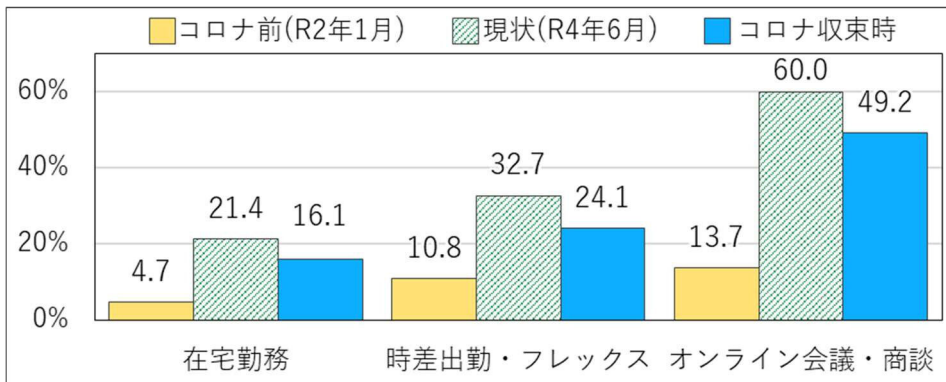


○ 月別の利用状況（地下鉄）

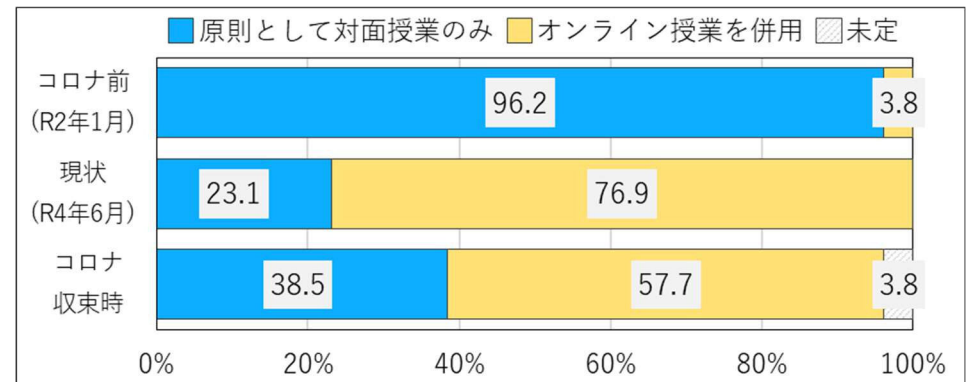


## ・コロナ収束時でも在宅勤務やオンライン授業を継続予定の企業、大学もある (R4年:交通局調べ)

○ 在宅勤務などの実施状況



○ 授業の実施状況

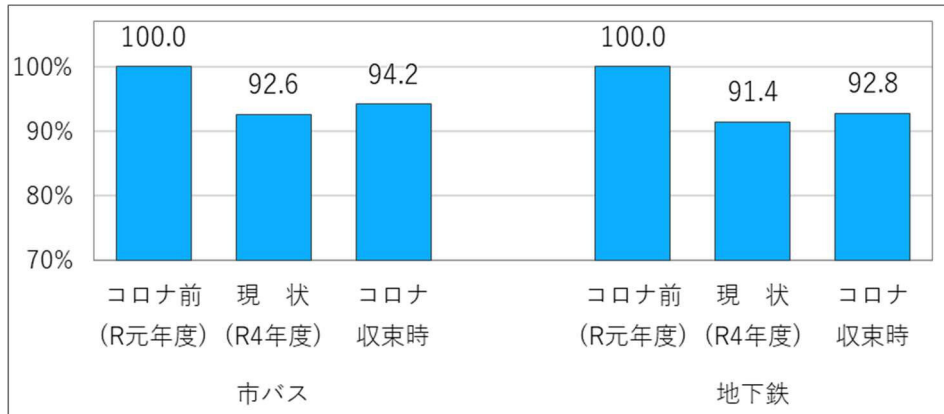


《課題》 新型コロナウイルスの感染拡大を契機とした生活様式の劇的な変化は、市バス・地下鉄の利用状況にも影響を及ぼしており、今後も影響は続く可能性がある。

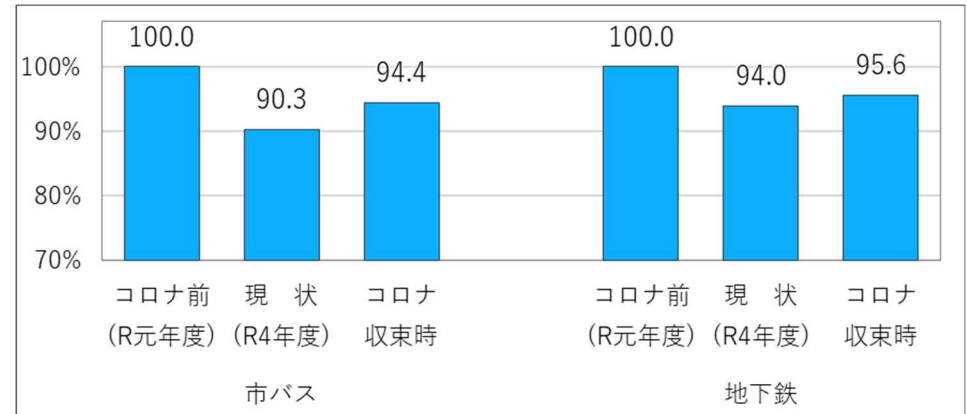
# 5-(2) 移動需要の変化①

- 在宅勤務やオンライン授業の浸透に伴い、定期券のニーズが低下
- 外出控えで、買い物、レジャーなど自由目的での利用頻度が低下
- 敬老パスの利用の落ち込みが大きく、高齢者の利用が低調

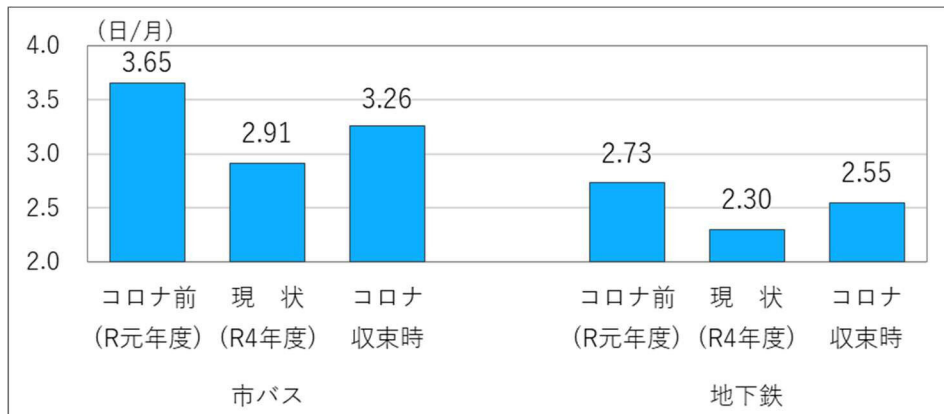
○ 定期券の購入意向（通勤定期券）



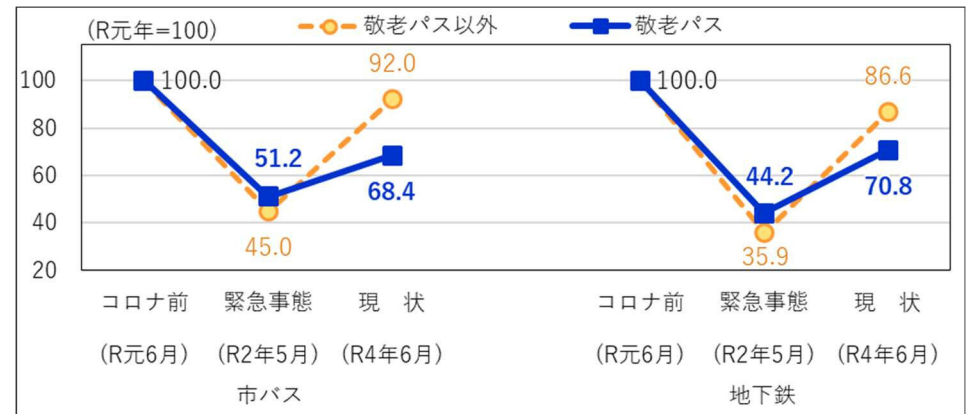
○ 定期券の購入意向（学生定期券）



○ 自由目的での平均利用日数



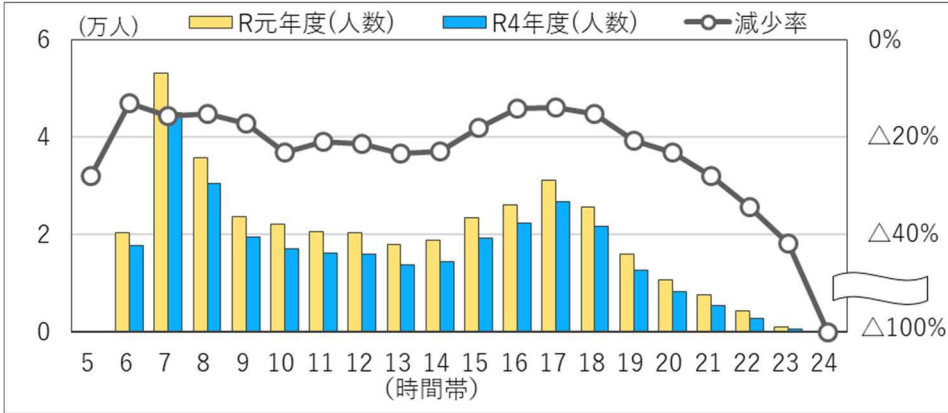
○ 敬老パス利用人員の状況



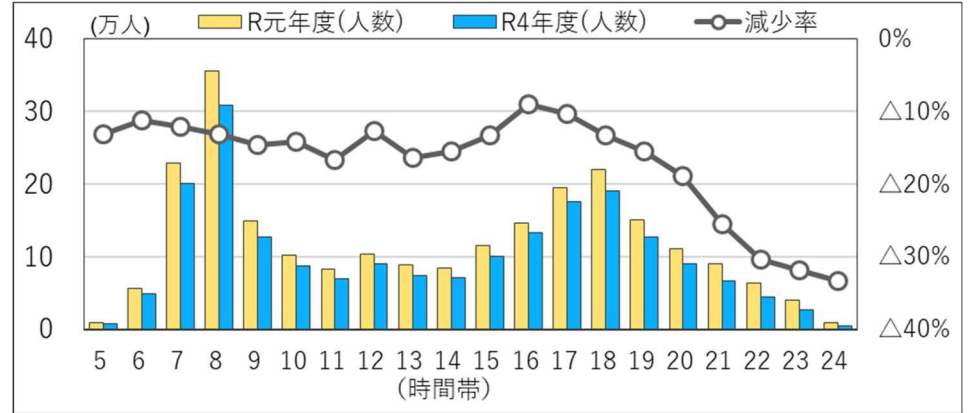
# 5-(2) 移動需要の変化②

- 昼間や夜間の利用の落ち込みが目立つ

○ 時間帯別の利用状況（市バス）

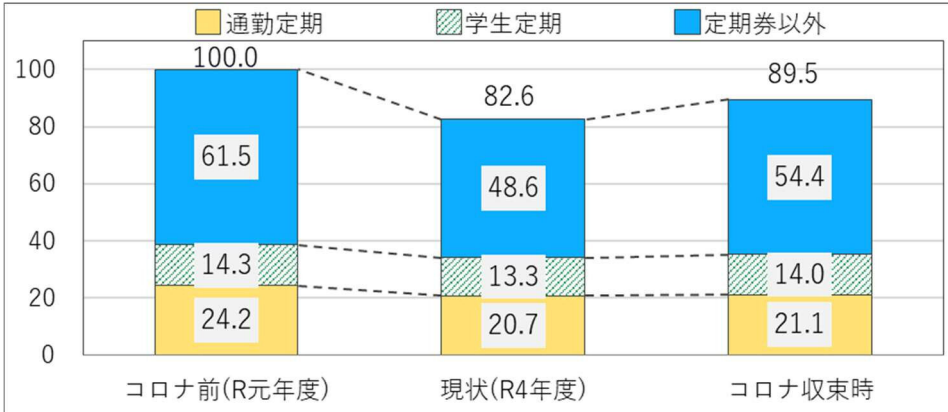


○ 時間帯別の利用状況（地下鉄）

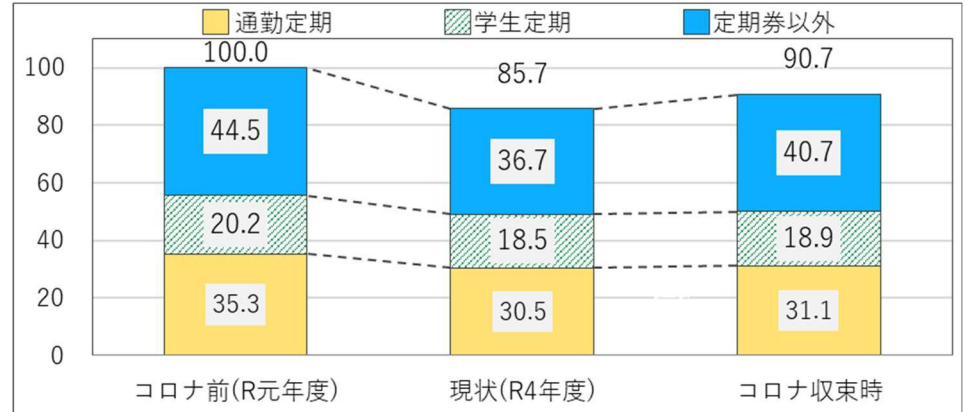


- コロナ収束時でも、乗車人員はコロナ前の水準に戻らない可能性がある

○ コロナ収束時の乗車人員の動向（市バス）



○ コロナ収束時の乗車人員の動向（地下鉄）



《課題》 移動需要は変化しており、需要の変化を的確に捉えた効果的な利用促進策などの **⑨収入増加策の展開**に加え、需要に応じた路線・ダイヤ設定などの **⑩事業運営の省力化・効率化**に取り組む必要がある。

## 5-(3) 運賃制度等のあり方

- 一部の企業が通勤費用を定期券代ではなく、実費精算に変更
- 多くの事業者において、運賃制度等の見直しを実施  
(割引・ポイント制度の廃止、オフピーク定期券、バリアフリー料金など)
- 国が鉄道運賃・料金制度のあり方に関する検討を進めている

(参考) 国土交通省「鉄道運賃・料金制度のあり方に関する小委員会」

《課題》 現在の運賃制度が前提とする事業環境は新たな局面へと変化しつつあり、変化に対応する最適な運賃制度のあり方について検討を進める必要がある。



## 5-(4) 少子高齢化の進行と人口減少社会への突入

- 名古屋市の人口は今後、減少に転じると予測されている
- 生産年齢人口の減少は一段と進行

《課題》 人口が減少に転じ、乗車人員の増加を見込むことが難しい状況となる中でも、利用促進策などの⑨収入増加策の展開に一層取り組んでいく必要がある。生産年齢人口の減少も加速することから、⑩事業運営の効率化・省力化や⑪人材の確保・職員力の向上に取り組む必要がある。

## 5-(5) カーボンニュートラルの実現

- 政府は「2050年のカーボンニュートラル・脱炭素社会の実現」を目指すと宣言
- 国交省は、2030年にバスは「保有台数の5%を非化石エネルギー自動車」、鉄道は「電気使用量の59%を非化石エネルギー」とすることを目標設定の目安として示す

(参考) 「地球温暖化対策計画」(R3.10)

「内閣官房及び内閣府本府がその事務及び事業に関し温室効果ガスの排出の削減等のため実行すべき措置について定める計画」(R4.6)  
経済産業省・国土交通省「旅客の輸送に係る非化石エネルギーへの転換に関する旅客輸送事業者の判断基準」

《課題》 カーボンニュートラルや脱炭素などの動きは加速しており、環境に配慮した事業運営や乗用車から公共交通機関への交通手段の転換の促進など、**⑧環境負荷の低減**に向けた取組みをさらに進めていく必要がある。

## 5-(6) DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進

- 政府は「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズにあったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会」を提唱
- 交通分野ではDXを進めることで、より持続可能性と利便性の高い地域公共交通ネットワークへの再構築を目指すこととしている  
(保守などへのDXの推進、MaaS、オンデマンド交通など)
- DX推進には、デジタル人材の確保や育成に取り組む必要がある

(参考) 「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」(R2.12)  
「デジタル田園都市国家構想基本方針」(R4.6)

《課題》 デジタル活用の高度化が急速に進行していく中で、専門的なデジタル知識や能力を有する⑪人材の確保・職員力の向上や横断的な推進体制を構築するとともに、デジタル技術を活用した⑥ニーズに対応したサービスの提供や⑩事業運営の省力化・効率化の取組みをこれまで以上に重視していく必要がある。

## 5-(7) 安全の確保

- 重大事件・事故が相次ぎ、輸送の安全に対する社会的な関心や要求が高まる
- 車内傷害事件を契機に、車内への防犯カメラ設置などについて議論が進められている
- 交通事故の減少に向けた安全性向上技術が実用化されている  
(超音波を用いて障害物までの距離を検知するソナーセンサーなど)

(参考) 国土交通省「防犯関係設備や非常用設備に係る技術基準の検討会」

《課題》 交通事業者最大の使命である安全運行を確保し、安心してご利用いただけるよう、ソフト・ハード両面から絶え間なく **①安全性の向上** に取り組む必要がある。

## 5-(8) 自然災害への備え

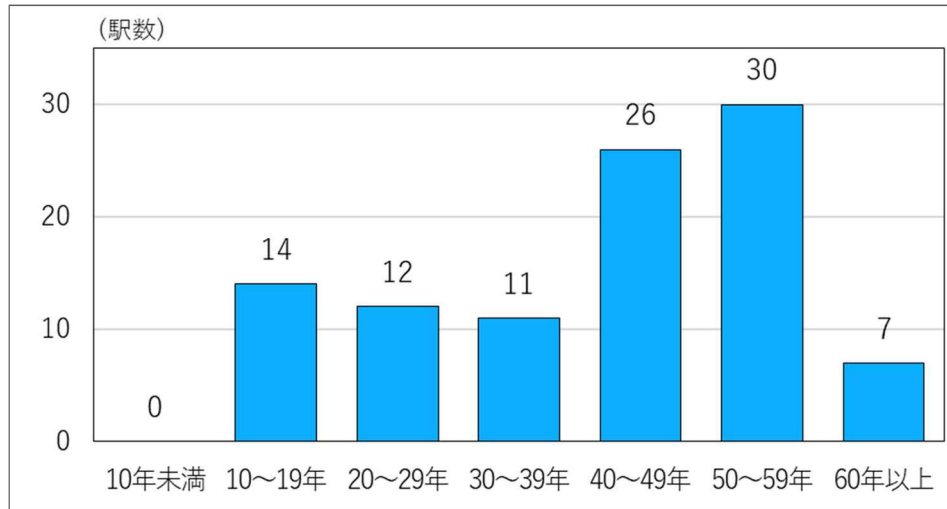
- 台風や豪雨、地震などにより、交通事業者が長期間運休を強いられる事例が発生
- 名古屋市では1時間に50mmを超える集中豪雨が増加
- 南海トラフを震源とするマグニチュード8～9の地震の発生確率は30年以内に70～80%

《課題》 これまでの防災対策の継続とともに、想定し得る最大規模の災害への対策を強化することにより、ソフト・ハード両面で②自然災害への備えを進める必要がある。

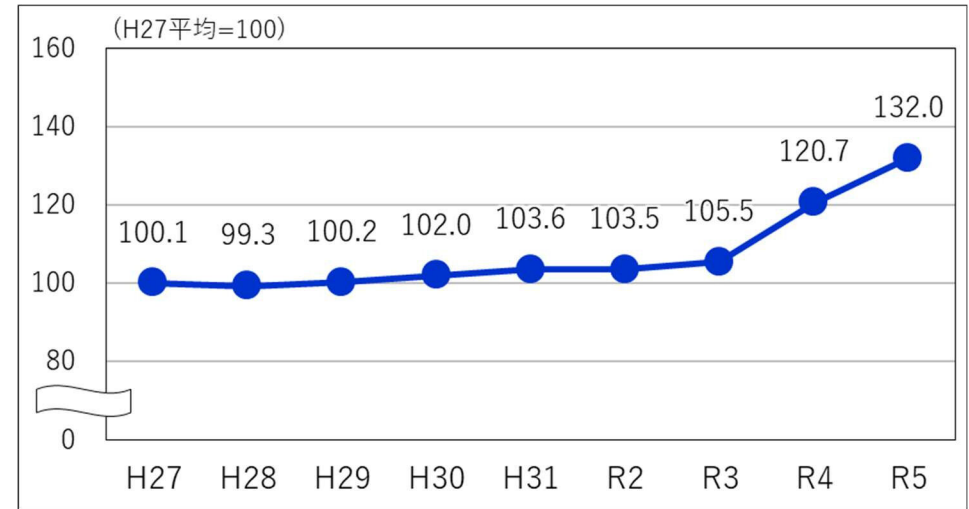
# 5-(9) 計画的な維持管理

- 地下鉄は半数以上の駅が開業から40年以上経過し、施設の老朽化が進む
- 資材価格が高騰し、資材納期の長期化も進んでいる

○ 地下鉄各駅の開業からの経過年数  
(令和5年1月現在)



○ 建設資材物価指数 (H27年平均を100とする指数:各年4月時点)  
※建設工事で使用される資材の総合的な価格動向を表す



(出典) 一般社団法人建設物価調査会「建物資材物価指数」

《課題》安全・安心な運行サービスを継続的に提供できるよう、補修・更新費用の平準化を図りながら、構造物等の長寿命化など③計画的な維持管理や④施設のリニューアルに今後も取り組んでいく必要がある。

## 5-(10) 快適性・利便性の向上

- 本市は交通拠点を中心に都市機能を配置する「集約型連携都市構造」を目指しており、駅などの快適性や利便性の向上が求められている
- お客さまアンケートでは、施設の清潔さや充実度に関する満足度が低い傾向
- 混雑を避ける新しい生活様式の定着等により、混雑緩和への社会的要請が高まる

○ 市バス・地下鉄の満足度の低い項目（令和4年度）

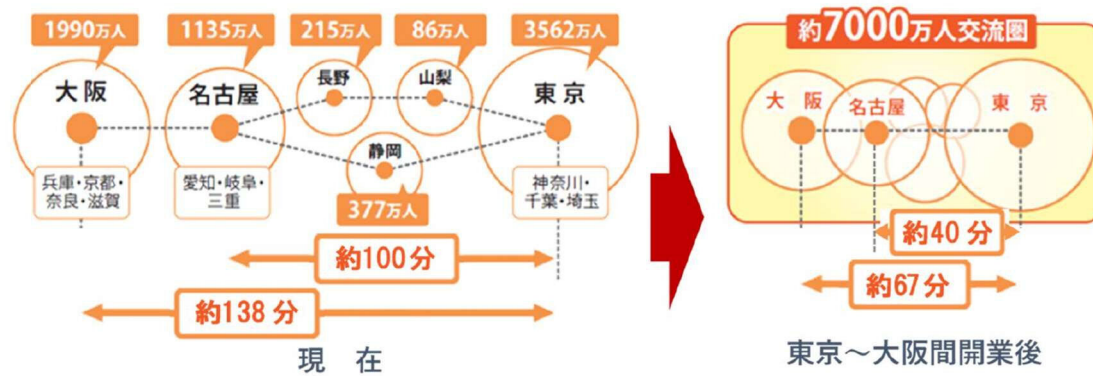
順位	市バス	地下鉄
1	運行回数	<u>駅トイレの清潔さ</u>
2	運行路線の便利さ	<u>一般トイレのリニューアル</u>
3	バス停のわかりやすい案内表示	<u>駅ベンチの設置</u>
4	時刻表通りの運行	地下鉄駅エレベータの整備
5	地下鉄との乗り継ぎの便利さ	バスへの乗換案内表示
6	ウェブサイトでのバス情報の提供	<u>多機能トイレのリニューアル</u>
7	<u>停留所施設の整備</u>	<u>地下鉄駅構内・ホームの明るさ</u>
8	<u>停留所の清潔さ</u>	<u>地下鉄駅構内・ホームの清潔さ</u>
9	<u>バスターミナルの清潔さ</u>	その他バリアフリー対策
10	<u>バスターミナル施設の整備</u>	他路線への乗換案内表示

《課題》 快適に市バス・地下鉄をご利用いただけるよう、④施設のリニューアルや⑥ニーズに対応したサービスの提供に引き続き取り組んでいく必要がある。

# 5-(11) 誰もが利用しやすい環境の整備

- 後期高齢者、在留外国人、国内外からの観光客・来訪者などの増加により、利用者のニーズは今後、一段と多様化していくことが見込まれる

○ リニア中央新幹線の開業による交流圏の変化



出典：名古屋市作成

《課題》 多様なニーズに対応し、障害の有無や年齢、言語などの違いにかかわらず、  
⑤だれもが利用しやすい環境づくりの取組みを今後も継続していく必要がある。



## 5-(12) まちづくり等との連携

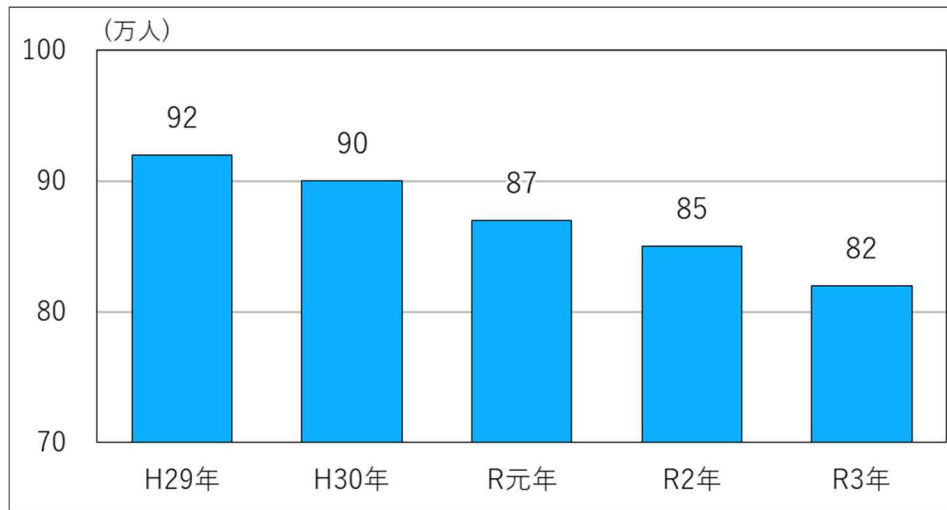
- 名古屋駅：リニア中央新幹線の建設  
名古屋駅周辺まちづくり構想
- 栄：栄地区グランドビジョンに基づく久屋大通の再整備  
民間事業者による大規模な再開発
- 金山：金山周辺まちづくり構想
- アジア・アジアパラ競技大会に向けた瑞穂公園陸上競技場の建替、愛知県体育館移転（瑞穂公園陸上競技場地区：バリアフリー法に基づく重点整備地区）
- 交通事業者や関係行政機関などで構成される名古屋市地域公共交通協議会の設置

《課題》 各エリアのまちづくりやアジア・アジアパラ競技大会などを見据え、⑦まちづくり等との連携強化に引き続き取り組んでいく必要がある。

# 5-(13) 人材の確保・職員力の向上

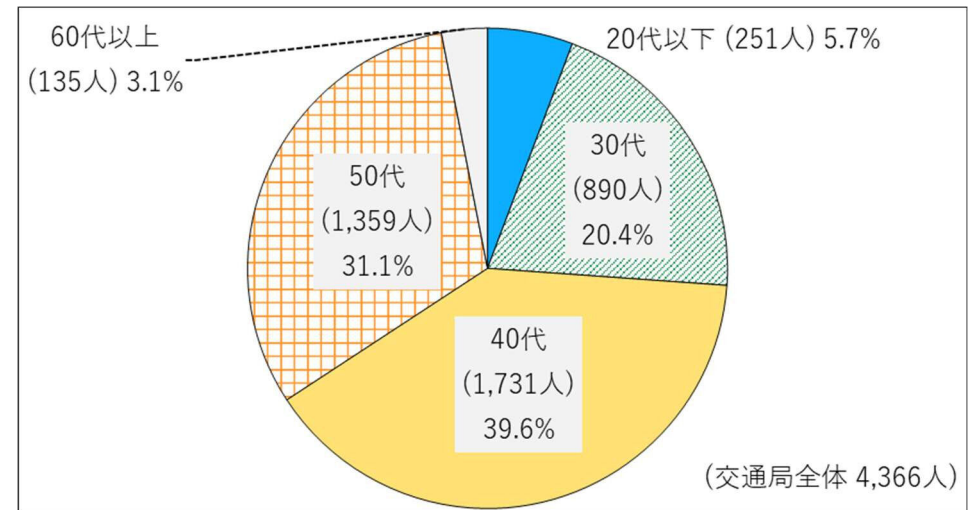
- 大型二種免許保有者数の減少、高齢化によるバス運転士不足の深刻化
- 生産性の向上や職員の意欲・能力を存分に発揮できる環境づくりが課題
- 交通局では退職者の増加が見込まれ、技術力継承がこれまで以上に重要となる

○ 大型二種免許保有者数の年別推移



(出典) 警察庁「運転免許統計 (令和3年版)」

○ 職員の年齢構成 (R3年度末時点)

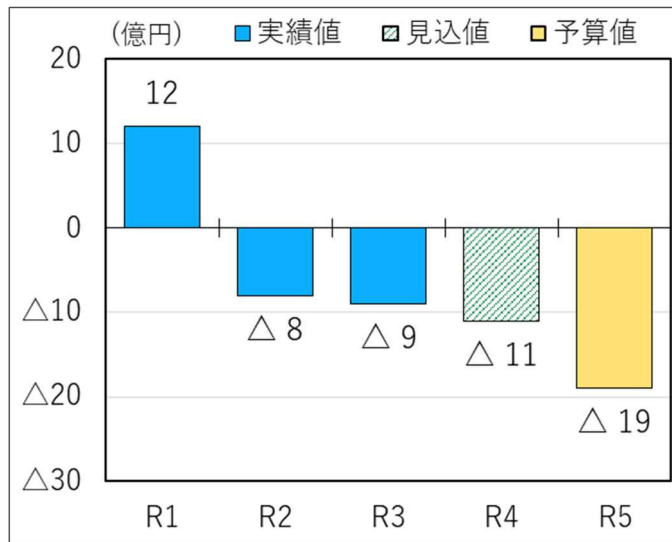


《課題》 安定的に交通サービスを提供し続けていくため、**⑪人材の確保・職員力の向上**に継続的に取り組んでいく必要がある。

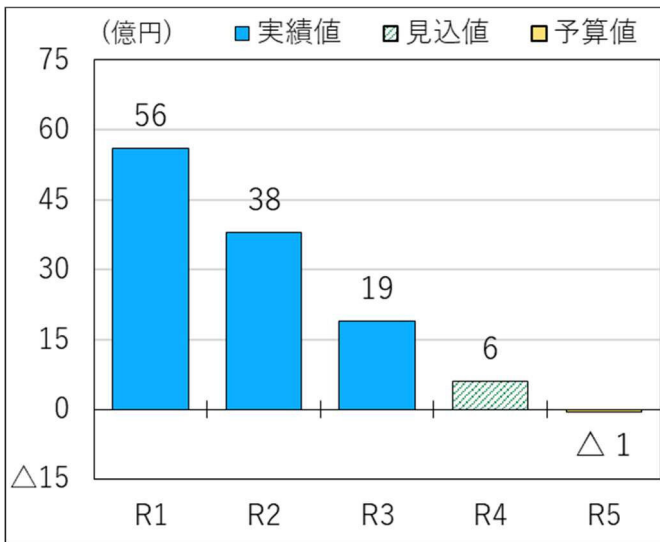
# 5-(14) 健全な経営状況の維持

- 市バスの経常収支は令和2年度以降、4年連続の赤字の見込み
- 市バス、地下鉄とも資金状況は悪化し、バスは5年度予算で資金不足となる見込み
- 軽油価格や電気料金も大幅に上昇

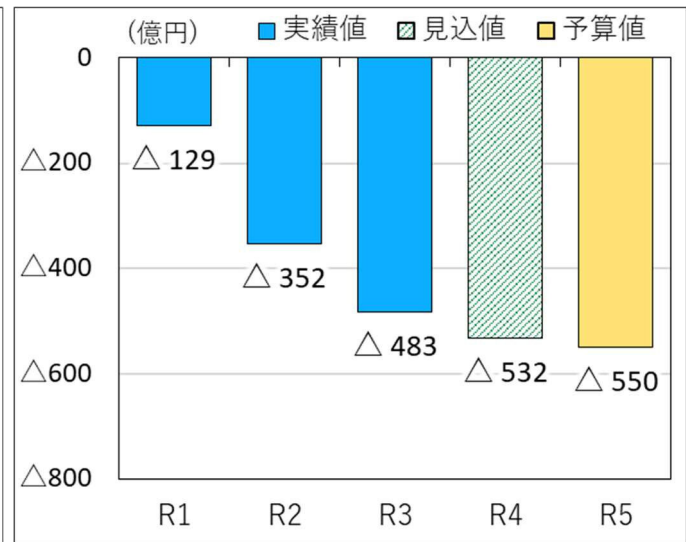
○ 市バスの経常収支の推移



○ 資金状況 (市バス)



○ 資金状況 (地下鉄)



《課題》 ⑨収入増加策の展開や⑩事業運営の省力化・効率化に引き続き取り組み、持続可能な経営状況を早期に確立する必要がある。

## 6 次期経営計画で取り組むべきこと

次の100年も、市民・利用者の移動手段を提供し続けるという交通局の使命を果たすために、利用促進や附帯事業の強化による収入の確保に加え、事業全般の徹底した省力化・効率化などに取り組み、経営改善を図る

# 7 施策構成（概念図）

